

3

茨城大学 4年 金澤 紗弥

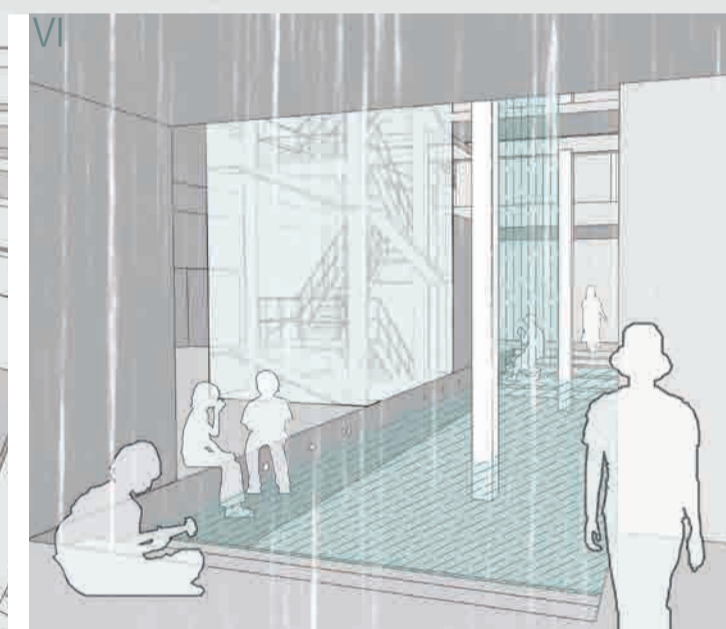
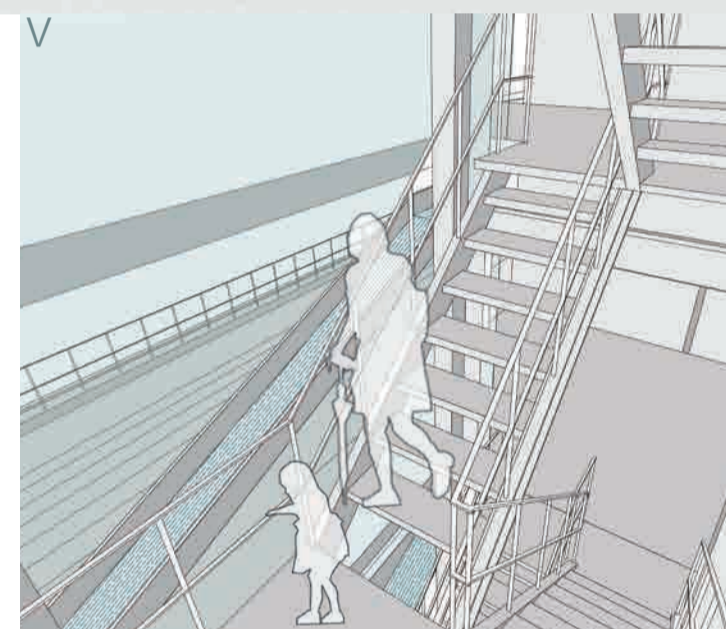
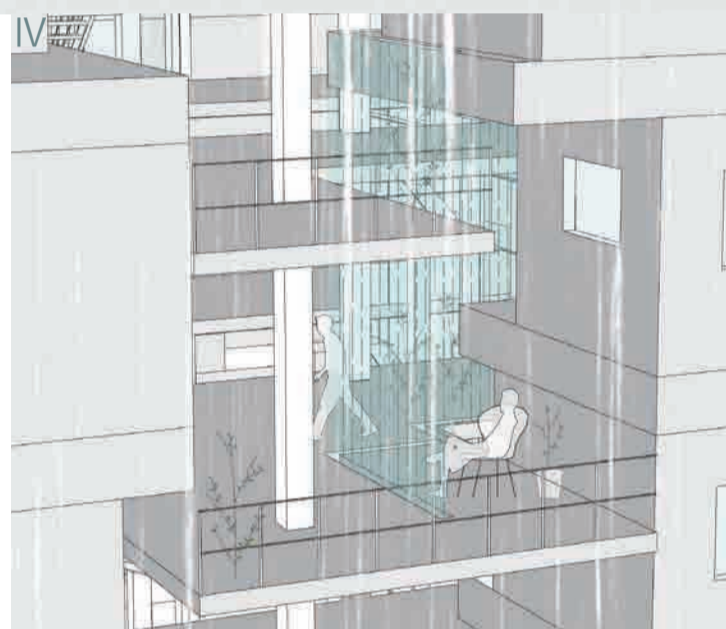
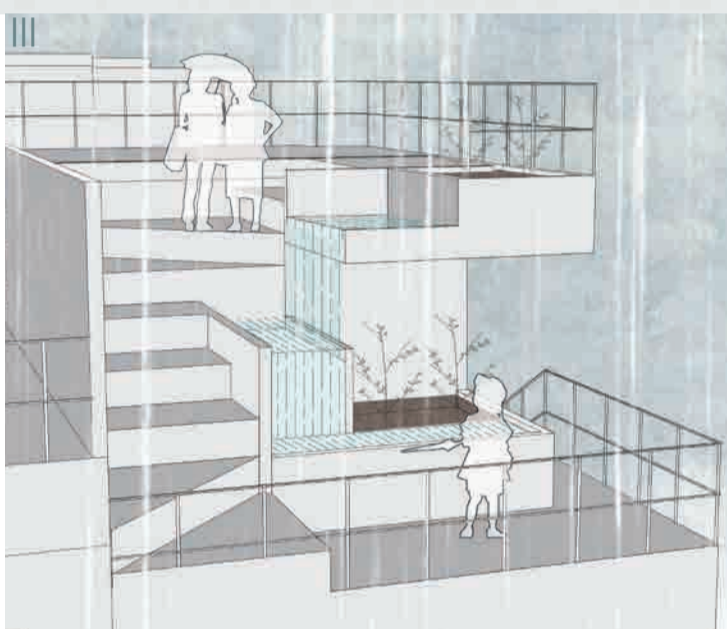
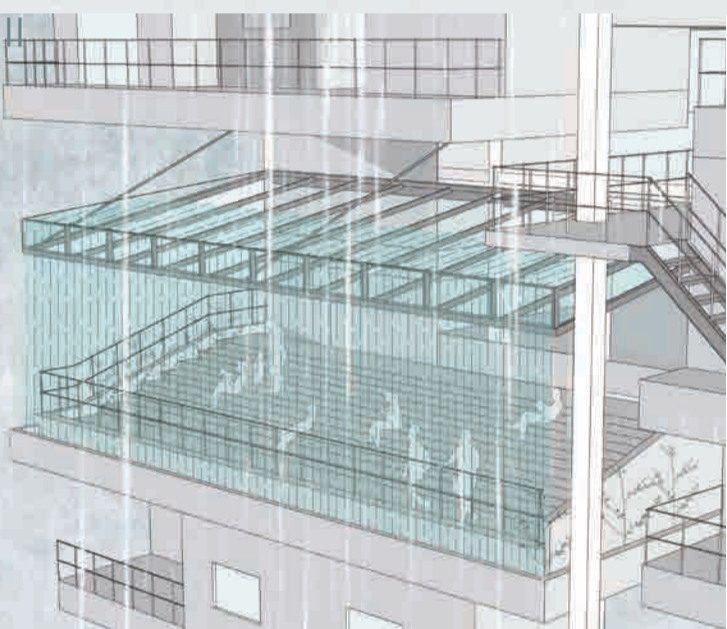
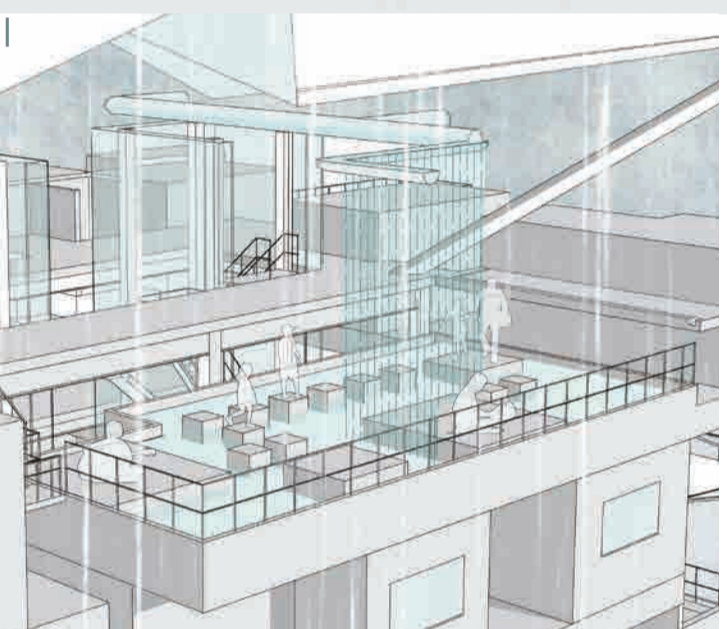
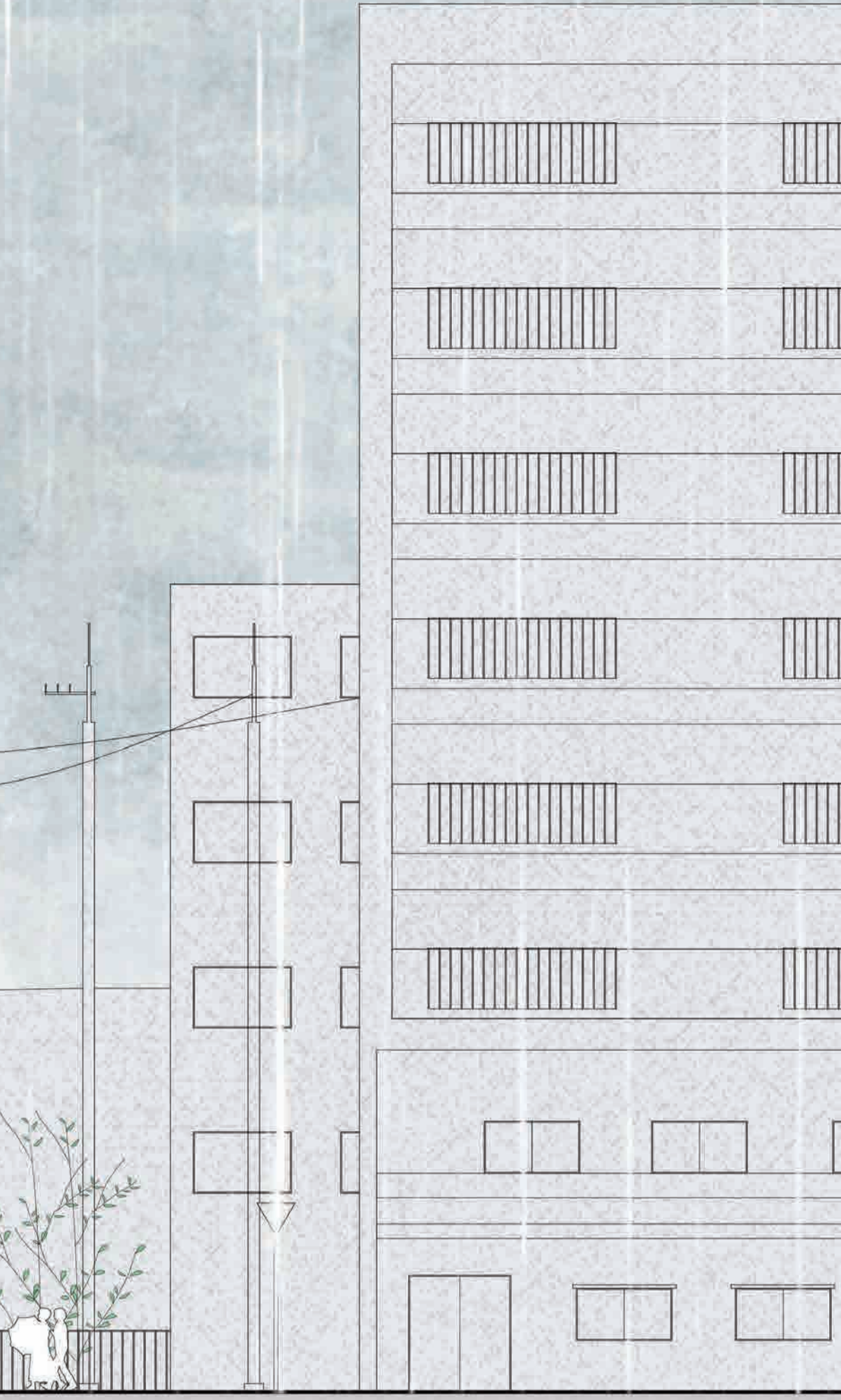
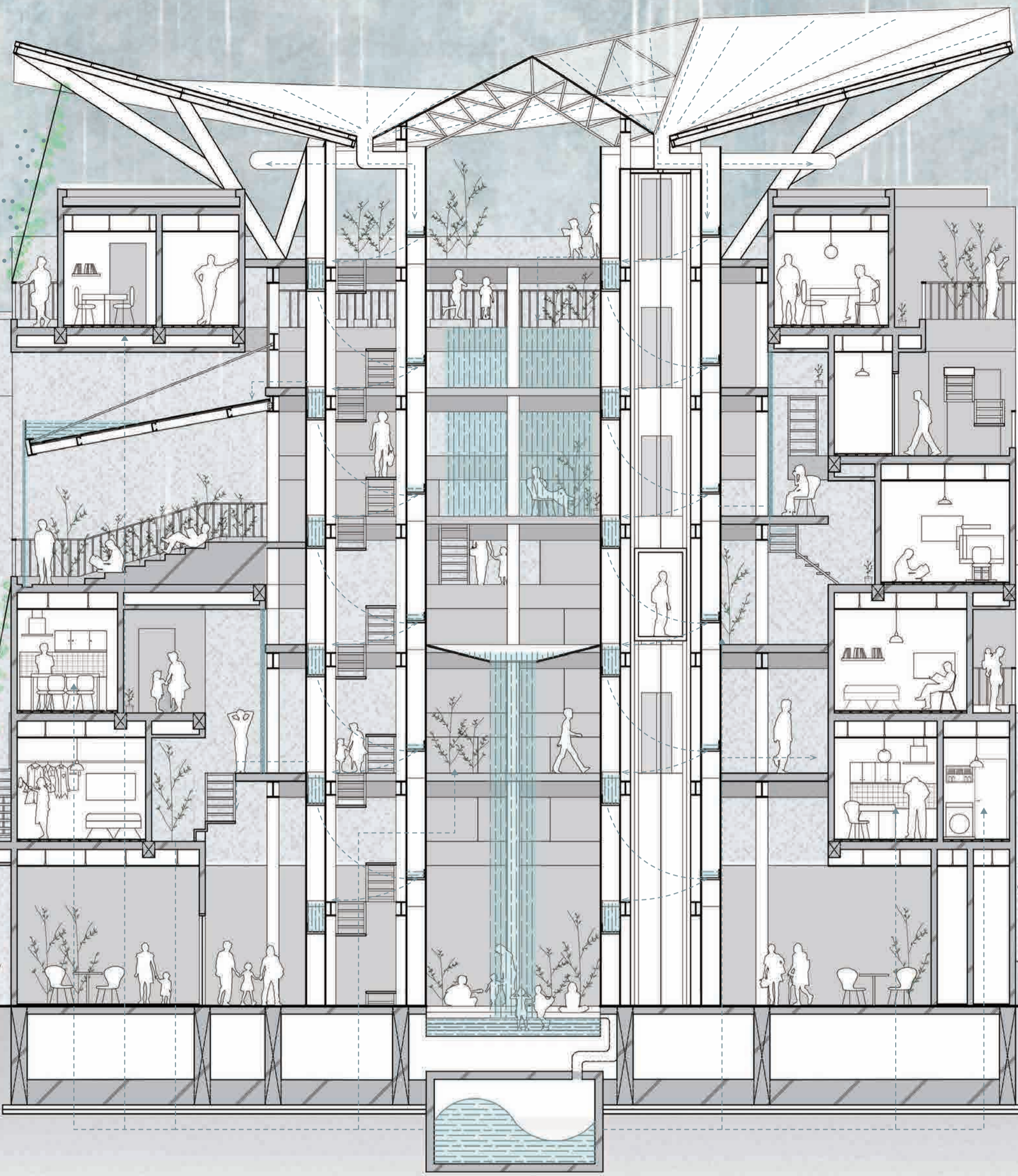
雨を紡ぐイエ

-雨がつくる多様な暮らし-



雨を紡ぐイエー 雨がつくる多様な暮らし

雨は煩わしいものという認識がある。それゆえ雨を排除する建築のあり方を考えられてきた。しかし、風や光などの自然環境と建築がうまく付き合っていることを考えると、雨についても人の暮らしに取り入れられる可能性を見出せるのではない。現在も、貯水などによる雨水利用は行われているが、偶発的に予期せず関わる自然環境として、建築に触れる雨の動きに着目することで人の暮らしに取り入れる価値を追求する。

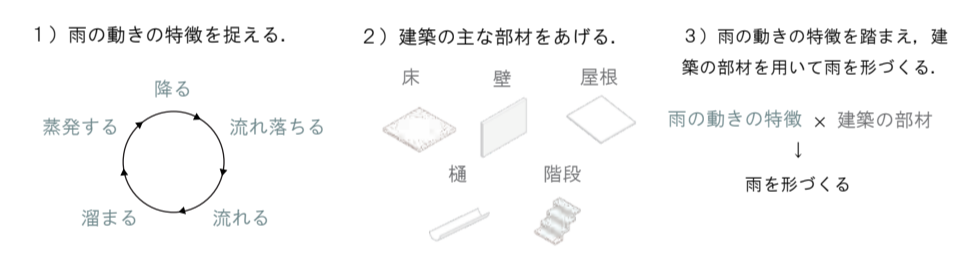


01. 設計の背景と敷地選定



■墨田区の雨水利用と新たな可能性
墨田区は昔から隅田川などによる都市型洪水にたびたび悩まされてきた。区は洪水防止や水資源の有効活用を力を入れ、1980年代から雨水利用を積極的に導入してきた。しかし、墨田区で導入されている雨水利用は殆どが雨を一旦地下に集水し、生活用水として利用するものである。地球上の水循環の中で唯一建築と物理的に触れ、関わりが強い雨水は、その動きや形に着目し、建築内部に取り入れることで、建築とうまく関わり、人々の生活を豊かにしないだろうか。

02. 雨を形づくる

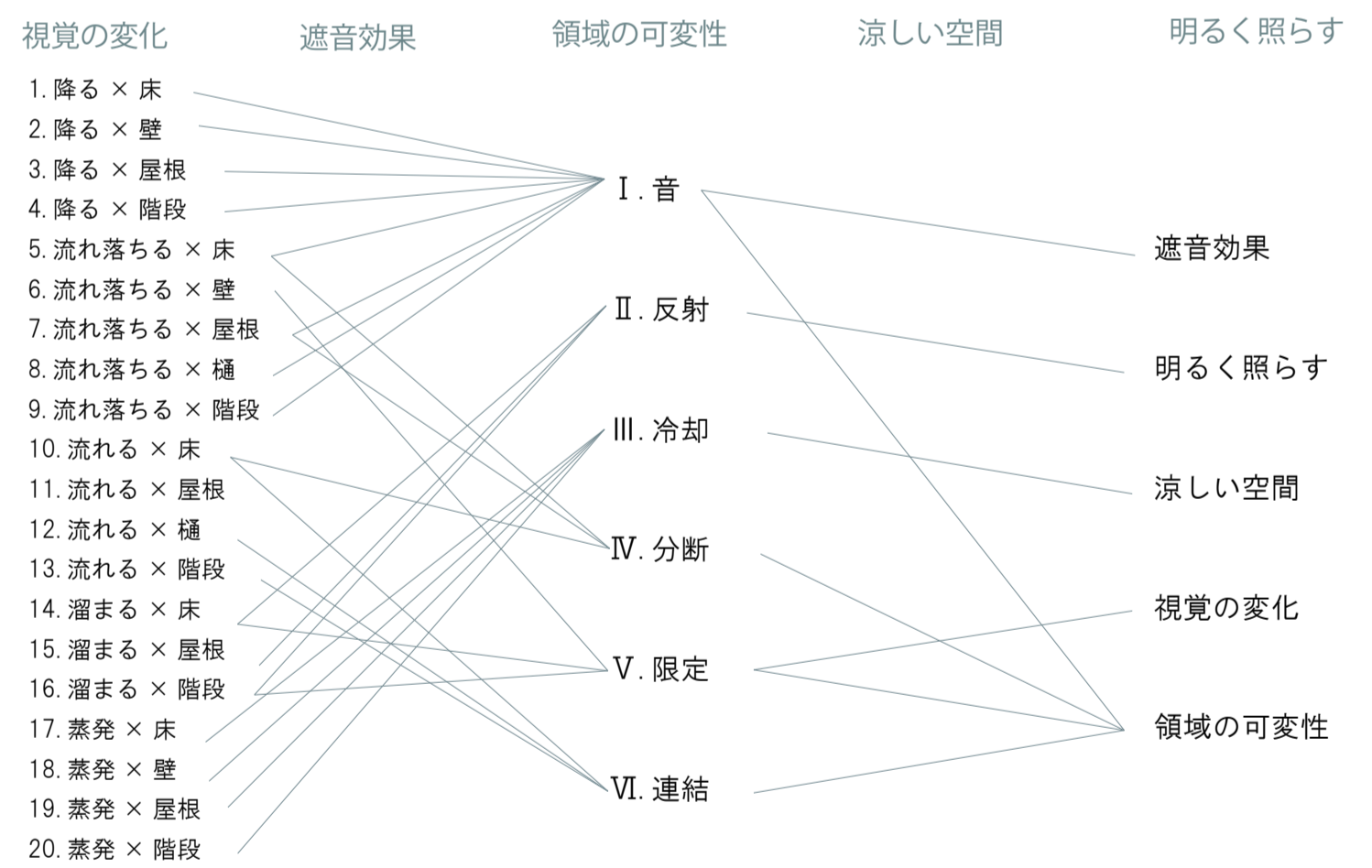


■雨のマトリックス 20
雨の動きの特徴と建築部材より20の雨の形を得た。

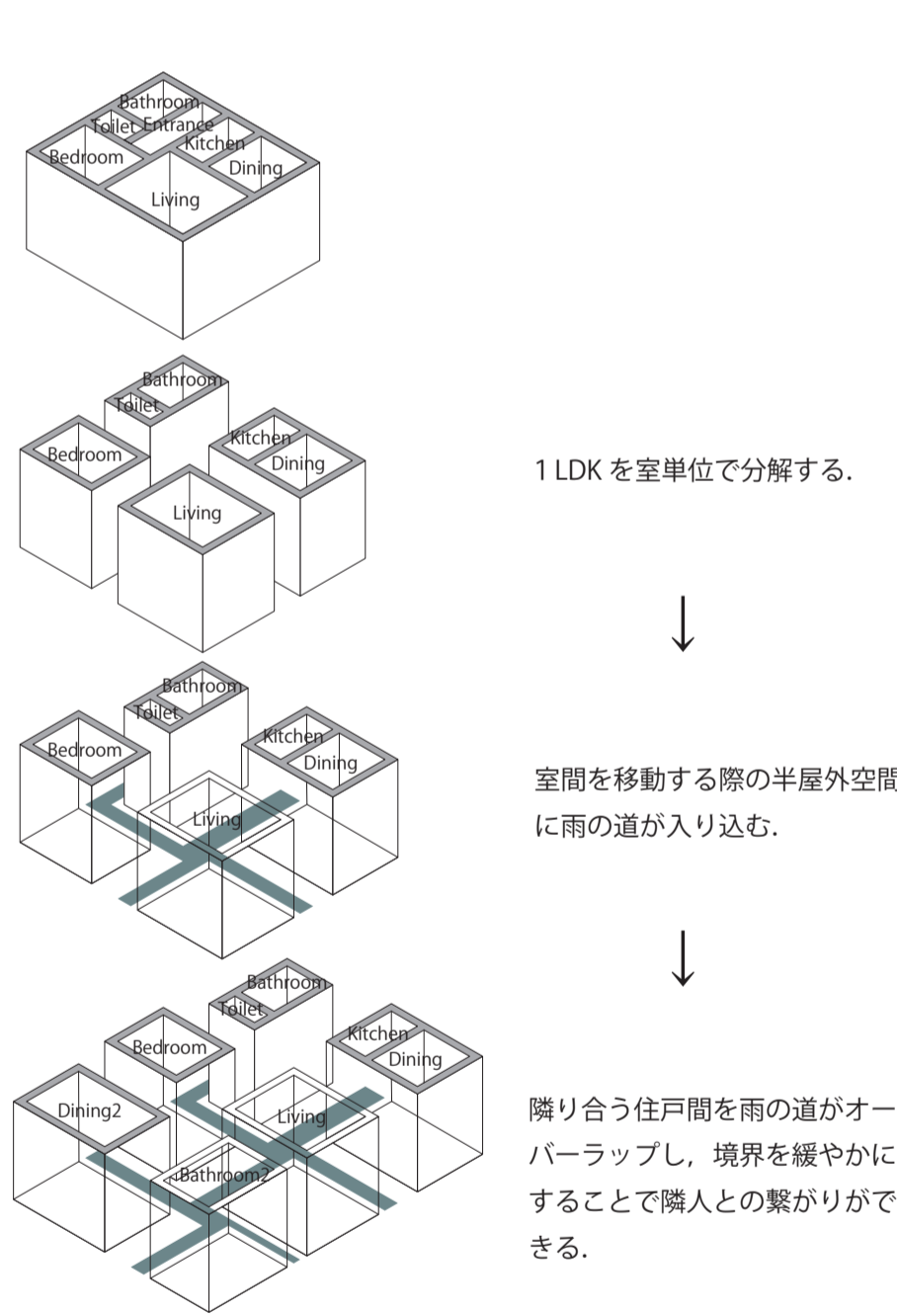
	床	壁	屋根	植	階段
降る					
流れ落ちる					
流れる					
溜まる					
蒸発する					

03. 空間に作用する6の要素と暮らしへの応用

1. 雨の形マトリックスより20の雨の形を得た。それを元に空間に作用する6つの要素を抽出した。
 - I. 落ちる時の音が空間に響く。
 - II. 水面に光を反射させる。
 - III. 蒸発することで空間が冷える。
 - IV. 境界となり空間を分断する。
 - V. 広がりを見せ空間を限定する。
 - VI. 流動性が空間を連結する。
2. 空間に作用する6つの要素を人の暮らしに応用できるものとして5つに分類した。



04. 生活動線に入り込む雨の道と住戸形態



06. 雨による空間操作—6の雨空間ケーススタディ—

